誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和６年度

広域農業基盤整備管理調査
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

積　　算　　書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

項　目　名	内　　容
局名	九州農政局
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所
事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務
施工場所	熊本県阿蘇郡産山村地内
業務番号	6-004-0052
業務区分	単年度
積算区分	当初積算
地域区分	熊本
地区区分	波野
工期	８ヶ月
積算体系年月	令和６年７月
単価期適用年月	令和６年７月―A
歩掛期適用年番号	令和６年９９号―A
電力会社名	九州電力

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

番号	項目名	規格	数量	単位	金額	備考
	設計業務費				68,904,000	
	・設計業務価格				62,640,000	
	・消費税相当額（１０％）				6,264,000	
	業務内容					
	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務					
1	1.準備作業		1.000	式		
2	2.資料の検討		1.000	式		
3	3.各種観測データの整理		1.000	式		
4	4.浸透抑制対策工の効果検証		1.000	式		
5	5.水収支浸透量の検討		1.000	式		
6	6. 地山浸透流解析		1.000	式		
7	7. 堤体埋設計器の挙動状況分析		1.000	式		
8	8. ダム安全性評価委員会資料の作成		1.000	式		
9	9.点検取りまとめ		1.000	式		

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

項　目　名	内　　容
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務
業務区分	単年度
積算区分	当初積算
積算体系区分	設計業務
工種区分	実施設計以外
工種体系区分	業務積算（設計）
施工地域区分	補正なし
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
豪雪補正	なし
亜熱帯補正	なし
被災地補正（共通仮設費）	1.000
被災地補正（現場管理費）	1.000
週休２日補正	4週8休以上
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
現場環境改善費の計上	する
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
設計業務価格			62,640,000	
・業務原価			40,715,000	
・・直接原価			26,544,000	
・・・直接人件費	1.000	式	26,317,000	
・・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式	86,000	
・・・直接経費（電子成果品作成費）	1.000	式	141,000	
・・その他原価				
26,317,000×53.850			14,171,000	
・一般管理費等				
40,715,000×53.850			21,925,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接人件費内訳			26,317,000	
直接人件費	1.000	式	26,317,000	
・直接人件費	1.000	式	26,317,000	
・・直接人件費	1.000	式	26,317,000	
・・・ 設計作業費	1.000	式	25,698,000	
・・・ 打合せ（設計）	1.000	式	534,000	
・・・ 外業移動日基準日額	1.000	式	85,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接経費(電子成果品作成費を除く)内訳			86,000	
直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式	86,000	
・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式	86,000	
・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式	86,000	
・・・ 旅費交通費 (設計)	1.000	式	75,000	
・・・ その他	1.000	式	11,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接人件費				26,317,000	
・直接人件費	1.000	式		26,317,000	
・・直接人件費	1.000	式		26,317,000	
・・・ 設計作業費	1.000	式	25,698,000	25,698,000	1 式当たり
S63007　準備作業	1.000	式	273,200	273,200	歩A・単A S単　12号
S63003　資料の検討	1.000	式	631,000	631,000	歩A・単A S単　4号
S63003　各種観測データの整理	1.000	式	2,850,000	2,850,000	歩A・単A S単　5号
S63003　浸透抑制対策工の効果検証	1.000	式	2,798,400	2,798,400	歩A・単A S単　6号
S63003　水収支浸透量の検討	1.000	式	2,492,400	2,492,400	歩A・単A S単　7号
S63003　地山浸透流解析	1.000	式	13,951,000	13,951,000	歩A・単A S単　8号
S63003　堤体埋設計器の挙動状況分析	1.000	式	699,000	699,000	歩A・単A S単　9号
S63003　ダム安全性評価委員会資料の作成	1.000	式	1,321,400	1,321,400	歩A・単A S単　10号
S63003　点検取りまとめ	1.000	式	681,400	681,400	歩A・単A S単　11号
合　計				25,697,800	
・・・ 打合せ（設計）	1.000	式	534,000	534,000	1 式当たり
S63010　打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.46日	2.000	回	116,928	233,856	歩A・単A S単　13号
S63010　打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.46日	3.000	回	100,032	300,096	歩A・単A S単　14号
合　計				533,952	
・・・ 外業移動日基準日額	1.000	式	85,000	85,000	1 式当たり
S02115　主任技師	0.500	人	64,800	32,400	歩A・単A S単　1号
S02115　技師（A）	0.500	人	57,000	28,500	歩A・単A S単　2号
S02115　技師（B）	0.500	人	47,200	23,600	歩A・単A S単　3号
合　計				84,500	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名：大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接経費(電子成果品作成費を除く)				86,000	
・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		86,000	
・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		86,000	
・・・ 旅費交通費（設計）	1.000	式	75,000	75,000	1 式当たり
S63011　打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≦Ｌ（100km以上）	2.000	回	3,645	7,290	歩Ａ・単Ａ Ｓ単　15号
S63017　旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,0.50日,2日,2時間,なし,100km≦Ｌ（100km以上）	1.000	式	56,602	56,602	歩Ａ・単Ａ Ｓ単　17号
S63011　打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≦Ｌ（100km以上）	3.000	回	3,645	10,935	歩Ａ・単Ａ Ｓ単　16号
合　計				74,827	
・・・ その他	1.000	式	11,000	11,000	1 式当たり
S63023　電子納品版業務報告書作成 1,Ａ－４,800,8cm,0	1.000	式	10,895	10,895	歩Ａ・単Ａ Ｓ単　18号
合　計				10,895	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	64,800		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊					
S02115	技師（A）					
	技師（A）		人	57,000		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊					
S02115	技師（B）					
	技師（B）		人	47,200		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊					
S63003	資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	631,000		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊					
S63003	各種観測データの整理					
	設計労務(直接人件費内業)		式	2,850,000		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 6号　＊＊＊					
S63003	浸透抑制対策工の効果検証					
	設計労務(直接人件費内業)		式	2,798,400		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 7号　＊＊＊					
S63003	水収支浸透量の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	2,492,400		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 8号　＊＊＊					
S63003	地山浸透流解析					
	設計労務(直接人件費内業)		式	13,951,000		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 9号　＊＊＊					
S63003	堤体埋設計器の挙動状況分析					
	設計労務(直接人件費内業)		式	699,000		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 10号　＊＊＊					
S63003	ダム安全性評価委員会資料の作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,321,400		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 11号　＊＊＊					
S63003	点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	681,400		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 12号　＊＊＊					
S63007	準備作業					
	設計労務(直接人件費外業)		式	273,200		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 13号　＊＊＊					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）					
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.46日		回	116,928		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 14号　＊＊＊					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）					
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.46日		回	100,032		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 15号　＊＊＊					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）					
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≦		回	3,645		歩A・単A
	Ｌ（100km以上）					
	＊＊＊　S単－ 16号　＊＊＊					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）					
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km≦Ｌ（100km		回	3,645		歩A・単A
	以上）					
	＊＊＊　S単－ 17号　＊＊＊					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）					
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,0.50日,2日,2時間,なし,100km≦Ｌ（100km以上）		式	56,602		歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 18号　＊＊＊					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1,Ａ－４,800,8㎝,0		式	10,895		歩A・単A

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊					
S02115	主任技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
	合　計				64,800	算出数量 1.000 人
	単　価				64,800	
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊					
S02115	技師（A）		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師（A）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師（A）	1.000	人	57,000	57,000	
	合　計				57,000	算出数量 1.000 人
	単　価				57,000	
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊					
S02115	技師（B）		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師（B）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師（B）	1.000	人	47,200	47,200	
	合　計				47,200	算出数量 1.000 人
	単　価				47,200	
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊					
S63003	資料の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	3.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	4.00人 2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師（A）	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師（B）	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師（C）	2.000	人	38,400	76,800	
	合　計				631,000	算出数量 1.000 式
	単　価		式		631,000	
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊					
S63003	各種観測データの整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	5.00人 10.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	15.00人 15.00人				
	7)技術員の人数	20.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	64,800	324,000	
R04004	技師（Ａ）	10.000	人	57,000	570,000	
R04005	技師（Ｂ）	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師（Ｃ）	15.000	人	38,400	576,000	
R04007	技術員	20.000	人	33,600	672,000	
	合　計				2,850,000	算出数量 1.000 式
	単　価		式		2,850,000	
	＊＊＊　Ｓ単－ 6号　＊＊＊					
S63003	浸透抑制対策工の効果検証		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	3.00人 8.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	15.00人 20.00人				
	7)技術員の人数	20.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師（Ａ）	8.000	人	57,000	456,000	
R04005	技師（Ｂ）	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師（Ｃ）	20.000	人	38,400	768,000	
R04007	技術員	20.000	人	33,600	672,000	
	合　計				2,798,400	算出数量 1.000 式
	単　価		式		2,798,400	
	＊＊＊　Ｓ単－ 7号　＊＊＊					
S63003	水収支浸透量の検討		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	3.00人 6.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	15.00人 15.00人				
	7)技術員の人数	20.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師（Ａ）	6.000	人	57,000	342,000	
R04005	技師（Ｂ）	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師（Ｃ）	15.000	人	38,400	576,000	
R04007	技術員	20.000	人	33,600	672,000	
	合　計				2,492,400	算出数量 1.000 式
	単　価		式		2,492,400	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｓ単－ 8号　＊＊＊					
S63003	地山浸透流解析		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	15.00人 35.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	70.00人 95.00人				
	7)技術員の人数	120.00人				
R04003	主任技師	15.000	人	64,800	972,000	
R04004	技師（Ａ）	35.000	人	57,000	1,995,000	
R04005	技師（Ｂ）	70.000	人	47,200	3,304,000	
R04006	技師（Ｃ）	95.000	人	38,400	3,648,000	
R04007	技術員	120.000	人	33,600	4,032,000	
	合　計				13,951,000	算出数量 1.000 式
	単　価		式		13,951,000	
	＊＊＊　Ｓ単－ 9号　＊＊＊					
S63003	堤体埋設計器の挙動状況分析		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	1.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	3.00人 4.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師（Ａ）	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師（Ｂ）	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師（Ｃ）	4.000	人	38,400	153,600	
R04007	技術員	5.000	人	33,600	168,000	
	合　計				699,000	算出数量 1.000 式
	単　価		式		699,000	
	＊＊＊　Ｓ単－ 10号　＊＊＊					
S63003	ダム安全性評価委員会資料の作成		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	2.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	8.00人 8.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師（Ａ）	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師（Ｂ）	8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師（Ｃ）	8.000	人	38,400	307,200	
R04007	技術員	10.000	人	33,600	336,000	
	合　計				1,321,400	算出数量 1.000 式

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	単　価		式		1,321,400	
	＊＊＊　S単－ 11号　＊＊＊					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	2.00人 3.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	4.00人 5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師（A）	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師（B）	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師（C）	5.000	人	38,400	192,000	
	合　計				681,400	算出数量 1.000 式
	単　価		式		681,400	
	＊＊＊　S単－ 12号　＊＊＊					
S63007	準備作業		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Ａの人数	1.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Ｂの人数 6)技師Ｃの人数	2.00人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師（A） 外業	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師（B） 外業	2.000	人	47,200	94,400	
	合　計				273,200	算出数量 1.000 式
	単　価		式		273,200	
	＊＊＊　S単－ 13号　＊＊＊					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.46			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.460日				
R04003	主任技師	0.960	人	64,800	62,208	
R04004	技師（A）	0.960	人	57,000	54,720	
	合　計				116,928	算出数量 1.000 回
	単　価		回		116,928	
	＊＊＊　S単－ 14号　＊＊＊					

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.46日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.460日				
R04004	技師（A）	0.960	人	57,000	54,720	
R04005	技師（B）	0.960	人	47,200	45,312	
	合　計				100,032	算出数量 1.000 回
	単　価		回		100,032	
	＊＊＊　S単－ 15号　＊＊＊					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	間,100km≦Ｌ（100km以上）			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師Ａ配置人員	1人 1人				
	5)技師Ｂ配置人員 6)技師Ｃ配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.46日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数	0円 1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	4時間 100km≦Ｌ（100km以上）				
M28121	ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号　レギュラースタンド	10.800	Ｌ	156	1,685	
	合　計				3,645	算出数量 1.000 回
	単　価		回		3,645	
	＊＊＊　S単－ 16号　＊＊＊					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,4時間,100km			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	≦Ｌ（100km以上）			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師Ａ配置人員	0人 1人				
	5)技師Ｂ配置人員 6)技師Ｃ配置人員	1人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.00日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数	0円 1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	4時間 100km≦Ｌ（100km以上）				
M28121	ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

業務別業務名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号　レギュラースタンド	10.800	Ｌ	156	1,685	
	合　　計				3,645	算出数量 1.000 回
	単　　価		回		3,645	
	＊＊＊　Ｓ単－ 17号　＊＊＊					
S63017	旅費交通費（設計外業宿泊用）		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	旅費交通費（設計外業宿泊用） 乙地,ライトバン,0.50日,2日,2時間,なし,100km≦Ｌ（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金（税別） 4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別） 6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別） 8)往復移動日数	0円 0.50日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 2時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000日				
	13)主任技師外業日数 14)技師Ａ外業日数	1.000日 2.000日				
	15)技師Ｂ外業日数 16)技師Ｃ外業日数	2.000日 0.000日				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	0.000日 100km≦Ｌ（100km以上）				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師（Ａ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師（Ｂ）日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 （乙地）消費税抜き（７級相当）	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師（Ａ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（６級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師（Ｂ）宿泊費 （乙地）消費税抜き（４級相当）	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費３級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
M28121	ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号　レギュラースタンド	10.800	Ｌ	156	1,685	
	合　　計				56,602	算出数量 1.000 式
	単　　価		式		56,602	
	＊＊＊　Ｓ単－ 18号　＊＊＊					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,Ａ－４,800,8cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部) 2)規格区分	1.000 Ａ－４		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚) 4)厚さ区分	800 8cm		深夜時間:0.0		
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代（コピー） Ａ－４以下　８００枚	1.000	部	10,200	10,200	
P43543	簡易加除式ファイル Ａ４縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	ＣＤ－Ｒ ＣＤ－Ｒ(記録面色素フタロシアニン)７００MB	0.000	枚	47	0	
	合　　計				10,895	算出数量 1.000 式
	単　　価		式		10,895	

令和６年度広域農業基盤整備管理調査
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務

特　別　仕　様　書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第１章　総　則

（適用範囲）

第 1-1 条

令和６年度広域農業基盤整備管理調査大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この見積仕様書によるものとする。

（目的）

第 1-2 条

本業務は、国営大野川上流土地改良事業で造成された大蘇ダム浸透抑制対策工の効果分析を行うものである。

（場所）

第 1-3 条

本業務において対象とする場所は、熊本県阿蘇郡産山村地内で、別紙位置図に示すとおりである。

（土地への立入り等）

第 1-4 条

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

（履行確実性評価の達成状況の確認）

第 1-5 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

①審査項目 a）～c）において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
②審査項目 d）において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
③その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
④業務成果品のミス、不備等

（一般事項）

第 1-6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

(1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進歩を図るものとする。

(2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。

(3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

（管理技術者）

第 1-7 条

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資　　格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関する学術部門	－
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	－

（担当技術者）

第 1-8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

（配置技術者の確認）

第 1-9 条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

（保険加入）

第 1-10 条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第２章　作業条件

（適用する図書）

第 2-1 条

本業務の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準・設計「ダム」（平成 15 年４月）」を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

（設計条件）

第 2-2 条

本業務の対象となる施設の設計諸元は、次のとおりである。

＜大蘇ダム＞

ダ ム 形 式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム
堤　　高：69.9m
総 貯 水 量：4,300,000 ㎥
有効貯水量：3,890,000 ㎥
設計堆砂量：410,000 ㎥
満 水 面 積：0.275k ㎡

（参考図書）

第 2-3 条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	名　　称	発　行　所	制定(改訂)年
①	多目的ダムの建設	(財)ダム技術センター	平成 17 年６月
②	建設省河川砂防技術基準(案)	(社)日本河川協会	平成９年 10 月
③	ダムの管理　例規集	(財)ダム水源地域環境整備センター	平成 18 年３月
④	解説・河川管理施設等構造令	(社)日本河川協会	平成 12 年１月

（貸与資料）

第 2-4 条

貸与資料は次表のとおりである。

分　類	資　料　名	数量
設計関係資料	令和３年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工調査検討業務報告書	１式
〃	令和４年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書	１式
〃	令和４年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇川上流流量観測業務報告書	１式
〃	令和５年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工調査検討業務報告書	１式
〃	令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書	１式
〃	令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇川上流流量観測業務報告書	１式
〃	令和２年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 資料（大蘇ダム）	１式
〃	令和３年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 資料（大蘇ダム）	１式
〃	令和４年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 個別打合せ資料（大蘇ダム）	１式
〃	令和５年度九州農政局管内国営農業用ダム安全性評価委員会 個別打合せ資料（大蘇ダム）	１式
その他	貯水位データ、雨量データ、河川流量データ、洪水吐上流取付水路内水位データ、ダム周辺地下水位データ、湧水データ、貯水池内支流水位データ、ダム管理収録データ（各種流入量・各種放流量・各種ダム埋設計器観測データ）	１式
〃	国営大野川上流農業水利事業　大蘇ダム技術誌	１式

（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第 2-5 条

第 2-3 条、第 2-4 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

(1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
(3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

（関連業務）
第 2-6 条
本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図れた設計としなければならない。

番　号	業　　務　　名	業務実施期間（予定）
①	令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工効果調査業務（仮称）	令和６年７月～ 令和７年３月
②	令和６年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工調査検討業務（仮称）	令和６年７月～ 令和７年３月

第３章　作業内容

（作業項目及び数量）
第 3-1 条
本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。
なお、詳細は別紙【設計作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目表
【設計作業】

作　業　項　目	数　量	備　考
1. 準備作業	1　式	
2. 資料の検討	1　式	
3. 各種観測データの整理	1　式	
4. 浸透抑制対策工の効果検証	1　式	
5. 水収支浸透量の検討	1　式	
6. 地山浸透流解析	1　式	
7. 堤体埋設計器の挙動状況分析	1　式	
8. ダム安全性評価委員会資料の作成	1　式	
9. 点検とりまとめ	1　式	

(作業の留意点)

第 3-2 条

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

(1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

(2) 第 2-3 条、第 2-4 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする

(3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。

(4) 共通仕様書第 1-11 条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」(URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」)に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

1) 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記 1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール） 又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第４章　打合せ

(打合せ)

第 4-1 条

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初　回　作業着手の段階

第２回　中間打合せ（各種観測データの整理段階）

第３回　中間打合せ（各種作業項目の検討中間段階）

第４回　中間打合せ（各種作業項目の取りまとめ段階）

最終回　報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第 1-11 条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第５章　成果物

(成果物)

第 5-1 条

成果物を共通仕様書第１章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R もしくは DVD-R）　正副 2 部

(2) 成果物の出力　１部(電子媒体の出力（A4）、市販のファイル綴じで可)

（成果物の提出先）

第 5-2 条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿 2084-5（大蘇ダム管理所）

九州農政局　北部九州土地改良調査管理事務所　大蘇ダム管理所駐在

第６章 契約変更

(契約変更)

第 6-1 条

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

(1) 第 3-1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。

(2) 第 5-1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。

(3) 第 6-1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。

(4) 履行期間の変更が生じた場合。

(5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。

(6) その他

第７章　定めなき事項

(定めなき事項)

第 7-1 条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 【設計作業項目内訳表】

作業項目	作　　業　　内　　容	備考
1.現地調査	ダム地点、左岸薄尾根、貯水池内（支流含む）、流域内及びダム周辺の地形、地質、観測施設等の状況把握のための現地調査を行う。	
2.資料の検討	資料等の内容を把握し、作業計画を策定する。	
3.各種観測データの整理	ダム貯水位データ、雨量データ、河川流量データ、洪水吐上流取付水路内水位データ、ダム周辺地下水位データ、湧水データ、貯水池内支流水位データ、ダム管理収録データ（各種流入量・各種放流量・各種ダム埋設計器観測データ）を整理し、観測計器毎の経時変化図を作成する。 整理期間は、2005.3～2024.3とする。 なお、2005.3～2023.3までは貸与資料「令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書」にて取りまとめられているため、当該業務報告書を活用するものとする。	
4.浸透抑制対策工の効果検証	浸透抑制対策工前後における水収支浸透量を整理・比較し、経時変化について評価のうえ、浸透抑制対策工効果の検証を行い取りまとめる。 検討条件は以下のとおりとする。 ①検討期間：2005.3～2024.3 ②大蘇川上流流入量：管理日報の値 ③大蘇川上流残流域流入量 作業項目5.水収支浸透量の検討結果（残留域流入量）を踏まえた残留域流入量とする。 ④洪水吐越流量 管理日報の値の他、貸与する洪水吐上流取付水路内水位データでのH-Q式による流量を基に、貯水位データや従来の洪水吐越流量との相関により回帰式を作成し、過去に遡って洪水吐越流量の算定を行う。 ⑤蒸発量 2005.3～2024.3の全期間において、ペンマン式による蒸発量を適用する。 ⑥その他の流入量・放流量：管理日報の値。 なお、2005.3～2023.3までの管理日報等は貸与資料「令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書」にて取りまとめられているため、当該業務報告書を活用するものとする。	
5.水収支浸透量の検討	(1)簡易浸透式(案)の整理 2020.8～2023.3の期間で作成している簡易浸透式を基に、2023.4～2024.3までのデータを加え、新たな簡易浸透式(案)を整理する。	

作業項目	作　　業　　内　　容	備考
	(2)大蘇川上流流量観測所地点残留域流入量の検討 別途関連業務にて実施する貯水池内支流流量観測結果と貯水池内支流水位データから、流入量の相関性を検討し、流量曲線等の関係式を作成する。また、雨量、大蘇川上流流量観測地点流量との相関性も併せて検討し、雨量や大蘇川上流流量観測地点の河川水位等との関係式等、大蘇川上流流量観測所地点残留域流入量の算出方法を検討する。 なお、上記の整理、検討にあたっては、令和５年度の検討結果（貸与資料「令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書」参照）も含めて、整理、検討を行う。	
	(3) 貯水位標高毎の水収支浸透量の検証 貯水位標高毎（貯水位保持期間等）に、背面地質の透水性状等を踏まえつつ、地下水位の経時変化や動水勾配について把握し、貯水位変動との相関や水収支浸透量増減傾向の検証を行う。 検証期間については、2020.1～2024.3とする。 なお、2020.1～2023.3については、貸与資料「令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書」にて検証が行われているため、当該業務報告書を参考にするものとする。	
6.地山浸透流解析	貯水池全体の３次元飽和不飽和非定常浸透流解析を実施し、貯水池からの浸透経路や浸透量について推定する。 解析にあっては､地下水位及び浸透量（湧水）､浸透量について試算し､実測の地下水位及び浸透量（湧水）､浸透量と比較のうえ､透水係数等のパラメータを同定する。 主な解析条件は以下のとおりとする。 ・解析モデル：３次元飽和不飽和非定常モデル ・地質区分：Py、Aso1、Aso2/1、Aso2、Aso3/2、Aso3、Aso4A1、Aso4の区分を基本とする。 ・要素数：約10万～15万個を想定 ・計算ケース：浸透抑制対策前後、追加浸透抑制対策後（３パターン）	

作業項目	作　　業　　内　　容	備考
7.堤体埋設計器の挙動状況分析	堤体埋設計器の挙動状況について整理、評価し取りまとめる。 各堤体埋設計器の履歴図の整理期間は、2022.4～2024.3までとし、挙動状況の評価については、2019.4からの挙動状況を踏まえ、取りまとめる。なお、2023.3以前の履歴図等については、貸与資料の令和５年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務報告書にて取りまとめられているため、当該業務報告書を活用するものとする。	
8.ダム安全性評価委員会資料の作成	令和６年度九州農政局国営農業用ダム安全性評価委員会（大蘇ダム）の検討要旨及び説明資料を作成する。 資料作成にあたっては、当該業務の取りまとめ成果及び第 2-5 条関連業務に示す業務の取りまとめ成果を基に委員会資料を作成する。 資料の作成項目は以下を想定している。 ①浸透に関する調査 (1)潜水調査結果及び浸透（吸込）状況の評価 (2)地下水等の挙動状況及び評価 ②水収支浸透量の検討 (1)水収支浸透量の精度向上に関する検討 1)大蘇川上流流量観測所地点残留域流入量の検討 2)洪水吐放流量の検討 (2)浸透抑制対策工の効果検証 ③斜面部における工法検討調査 (1)岩盤部対策工法の検討 (2)土砂部・岩盤部現地施工結果 (3)土砂部・岩盤部モニタリング結果 ④地山浸透流解析 (1)貯水池全体３次元飽和不飽和非定常浸透流解析結果 ⑤追加浸透抑制対策工の検討 (1)追加対策工の検討結果 なお、個別打合せ開催は３回（R6.7月、R6.9月、R6.12月）、委員会開催は１回（R7.2）を想定しており、上記作業項目①～②、⑤については個別打合せ１回＋委員会１回にて審議、③・⑤については、個別打合せ２回＋委員会１回にて審議、④については、個別打合せ３回＋委員会１回にて審議することを想定している。	
9.点検とりまとめ	各作業項目の成果物点検、取りまとめ及び報告書作成を行う。	

令和６年度広域農業基盤整備管理調査

大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策効果分析業務

図　面　目　録

番号	図　面　名　称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

業務名	令和６年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制効果分析業務
図面名	位置図
年月日	
尺度	図示 / 図面番号 1
会社名	
事務所名	九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所